

おかげさん

90号

真宗大谷派
高德寺通信

2020年春号



新型コロナウイルス感染症 拡大の状況下で思うこと

2019年12月に、中国湖北省の武漢で原因不明のウイルス性肺炎として最初の症例が確認されて以降、今年の3/10の時点までに世界90ヶ国以上に感染が広がり、400人を超える死者、11万人を超える感染者がでていて、流行は現在も広がり続けている。ダイヤモンド・プリンス号のニュースをテレビで観ながら、「かかった人は長いこと隔離されてお気の毒だな」と、つぶやいたところ、すかさず隣に座っていた坊主に「何他人事みたいに言ってるの？自分も既にかかっているかもよ」と言われた…!!

ハッとした。自分は絶対に感染してないという思いの上でのコメントだった。それは、「私だけはおからない!」かかる訳ないじゃないか!」かかったら困る

という何の根拠もない、自分の勝手な思い以外の何ものでもない。
親鸞聖人は今から800年も昔にこう仰っている。

さるべき業縁のもよおせば

いかなるふるまいもすべし

(歎異抄第十三条・真宗聖典 P.634)

これは、縁があれば、思いとは裏腹に、どんなことでもしてしまうし、どんな目にも遭ってしまう「人間」の相を言ひあてておられる。

自分かどんなに氣をつけていても、縁があれば新型コロナウイルスに感染してしまうのだ…。それは常々、仏法の温泉に浸かり、教えをいただく機会のある者として、よく分かっているつもりだが、テレビのニュースを観て、私の口から出る言葉は、「かかった人はお気の毒…」なのである。

今から9年前、東日本大震災の年の6月に東京五組(高德寺が所属している、真宗大谷派のブロックの一つ)で、芝浦にある「東京都中央卸売市場」の「食肉市場」(芝浦屠場)を見学した時の

ことを思い出した。ここでは全国から運ばれた牛と豚が屠畜され（牛は600頭豚は1200頭ほどが一日に屠畜される）我々の口に入るくらいにまで解体されている。その時食肉の仕事に関わる人への差別や偏見があることも学ばせていただいた。展示物の中に、働いている人宛に送られて来たハガキがあった。紙面には、みっちり書かれた罵倒の文面……。汚い字で旧漢字が夕様されてあり、大人が書いたと思われる。それを目にして、とても悲しい気持ちになったことを覚えてる。見学を終えて案内していただいた職員の方と話をしていた時のことだ。私が「我々が生活の中で、いろんな革製品を使うことが出来るのも、あなたの方のおかげですね」と言った瞬間「新井さん、それが差別なんです！ あなたはこの仕事をするって思っていないでしょ」と、ご指摘いただいたのだ。この時も「ハッ」とした……。無意識（？）のうちに「自分とは違う」という思いの上に立って発言を（ずいっと）繰り返しているんだなあ……と気づか

されたことである。寺をおあずかりしている住職として、毎日やるべきことがあり、家族（母は高齢者）にうつす訳にもいかないので、絶対に感染者にならない……。それはどの人も同じ思いであろう。縁さえあれば自分だって感染するし、沢山の人がうつしてしまうかもしれないのに、それは無いという所にしか立っていないのである。しかも指摘を受けてハッと思っても、すぐに眼が濁って自分の立っている所が見えなくなってしまう……。

そうやってみると、いのちが尽きるその時まで、常に教えていただかないとならない身なのだなあ。新型コロナウイルスに感染しないように、生活の中で細心の注意をすることは大事なことでけれども、病氣への差別や偏見にも感染してはいないだろうか？と、一度立ち止まって自分をみつめてみることにが大事なことだと思う春彼岸会直前……である。

お彼岸のお参りでお出かけされる皆様、くれぐれもお氣をつけていただきたいと思います。 釋義祐

高德寺より

ご連絡です

新型コロナウイルスの感染拡大が収まりません。私を含め、世界中の人々が不安な中でお過ごしのことと思います。日本では感染拡大防止の対策として、小中学校の休校、イベントの自粛や中止などが相次ぎ、社会的にも大変深刻な状況となっております。

高德寺でも寺の行事を、変更又は中止にしたものがありますので、お知らせいたします。

新型コロナウイルスによる感染拡大を受けて、感染リスクを考慮した結果、左記の行事を中止といたします。

- ◆ 3/8(日) 「おみがき奉仕」
- ◆ 3/14(土) 「寺うた」「寺子屋の時間」
- ◆ 4/4(土) 「寺うた」「寺子屋の時間」
- ◆ 4/10(金) ～ 12(日) 「旅行会」

誠に残念なことです。このような対応とさせていただきますことをご承下さい。

※ 合同新金法要^{にいげん} は

7/12(日) 13時より高德寺本堂にて

お勤めさせていただきます。予定です。

◎ 新金にあたる方のお宅には、ご通知します。

この日にご都合のつかない場合は、個別にご相談させていただきます。

春彼岸会について

二〇二〇年の春のお彼岸の期間は、

3月17日(火)～23日(月)です。

毎年、お中日(ちゅうじち)(今年は20日・春分の日)と

日曜日には、新井白石記念ホール(あらい はくせき)

を「お休み処(やすみどころ)」として、ご参詣の方

にご利用いただいております。

新型コロナウイルス感染リスクを考

慮いたしまして、中止とさせていただきます。

ます。

5月以降のお寺の行事につきましましては、状況をみて判断し、ホームページや寺報等でお知らせいたします。

「永代経法要」について

えいたいぎようほうよう

毎年お中日の11時30分から本堂

において、「高德寺永代経法要」を

お勤めしており、ご参詣の皆様にお参りいただきありがとうございます。

は、住職ならびに釋了吾(しゃりょうご)(住職の長男)

のみの内勤めとさせていただきます。

法話ありません。

参詣者の「お焼香」は本堂正面(外

側)でお願いいたします。

年回の法事について

法事は今まで通り、随時お受け

いたします。不安な方はお寺にご

相談ください。宜しく願います。

修正会

2020.1.1

AM 10:00~

お勤めいたしました



◆毎年恒例の記念撮影。笑顔でチーズ!



◆大きく元氣な声が本堂に響きました。

今年も一年で一番最初のお勤めである「修正会」を有縁の方々と一緒に厳修^{げんしゅう}させていただきました。昨年同様、朝陽が差し込む本堂内にお念仏の声や正信偈^{しょうしんげ}が響き渡りました。勤行、お文の拝読、住職のお話しの後で記念撮影、茶話会と、お参りに足を運んでくださった方々と楽しいひとときを過ごさせていただきました。お子様達の成長ぶりに驚かされました。ありがとうございます。来年も同日同時刻にお勤めいたします。

Omigaki Houshi Onrei

2019.12.22

石井 玉枝さん	菅原 悟さん	寛谷 恵美子さん
石井 真弓さん	菅原 千穂子さん	水越 拓路さん
伊藤 隆介さん	杉村 健一さん	水越 和子さん
海東 雅子さん	崇島 曉美さん	宮本 真さん
菊池 キエさん	塚田 和子さん	宮本 咲子さん
木村 隆さん	塚田 太郎さん	柳沢 佐智子さん
暮沼 マリさん	中田 有紀子さん	山本 洋祐さん
清水 和美さん	仁野平 並芳さん	山野 晃さん (あいぞめ順)

年4回ある『おみぎ奉仕』の年内(2019年)さいごの“おみぎ”に参加された方々です。有ること難しのおかげさんです♪ おみぎ終了後、本堂でお勤めをして、皆で『望年会』をいたしました。沢山の皆様のおかげで、いつも仏具はピッカピカです!“おみぎ”は、どなたでもご参加いただけます。今後とも宜しくお願いいたします。

カンパ御礼

磯村 貴美子さん	石川 英子さん
橘 千穂子さん	神野くららさん
篠 慶子さん	布瀬 隆敏さん
佐々木 治子さん	匿名希望さん
古谷 紀代美さん	青山 久子さん
岩崎 英之さん	大久保 恵子さん

(いただいた順です)

「おかげさん」
そして 絵本
「一本のホウキ」に
応援を頂き
ました...♪
m(._.)m



3/7(土)は、私が大学生の時に、音系サークルで一緒にバンドを組んだことのある先輩の三回忌にあたり、その日に横浜のライブハウスを借り切って、数バンドが出演しての「追悼ライブ」が開かれる筈であった。新型コロナの問題で中止となった。そのライブには、私も出演する予定で、昨年、30年ぶりに当時のバンドのメンバーと再会し、練習も重ねて来ただけに、本当に残念である。収束したら仕切り直そう、ということになったが、いつ収束するのかも分からない。7/5(日)の「ゴーエンス・チャリティーライブ」もどうなるのだろうか？というか、ライブどころではない、世界のそしてこの国の経済への影響が本当に心配である。ワクチンの早期開発に期待したい。心からそう願う……。

釋義祐拝

目覚める
ことかも
しれません

覚りとは
自分を含
めた一切の
尊さに

発行日

2020.3.17

発行

真宗大谷派 高德寺

編集

住職 新井義雄

(法名: 釋義祐)

〒164-0002

東京都中野区上高田1-2-9

☎ 03-3368-6947

FAX 03-3362-8019

《表紙の絵》

「寺院や神社にある「手水舎」の龍」

法語

『覚りとは自分を含めた一切の尊さに目覚めることかもしれません』

(真城義磨氏のことは)

♪ 今回も藤井清三さまのご厚意により、「おかげさん90号」を発行することが出来ました。

心より感謝申し上げます。